

「中途採用実態調査結果（2023年度実績、正規社員）」を公開 必要な人数を確保できなかった企業の割合は過去最高値に

次年度、中途採用割合を増やす企業が、新卒採用割合を増やす企業を上回る

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）内の、人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所は、民間企業の2023年度中途採用実績に関する調査結果を公開しましたので、お知らせいたします。詳細は下記URLをご参照ください。

調査レポート https://www.works-i.com/research/works-report/item/240606_midcareer.pdf

「中途採用実態調査（2023年度実績、正規社員）」概要

- **2023年度下半期は約8割の企業が中途採用を実施。通期中途採用実績は1.48人から1.63人に増加**
2023年度下半期中途採用を「実施した・実施中」の割合は79.5%であり、比較可能な2013年度下半期以降で最も高い数値となった。通期での1社当たりの採用実績も増加し、中途採用は活況が続く。
- **必要な人数を確保できなかった企業の割合は過去最高値。確保状況により、中途採用の目的が異なる傾向**
2023年度下半期に必要な人数を「確保できた」企業の割合から「確保できなかった」企業の割合を引いた中途採用確保D.I.は-7.7%ポイント。また、確保状況により中途採用の目的が異なる傾向が見られた。
- **次年度に中途採用割合を増やす企業が、新卒採用割合を増やす企業を上回る**
「新卒採用の割合を増やす予定」が11.1%であるのに対し、「中途採用の割合を増やす予定」は14.7%となり、中途採用の割合を増やす企業の割合が、新卒採用の割合を増やす企業を比較可能な3年間で初めて上回った。求人数自体は新卒採用でも増加しており、採用全体が活況。

執筆者：リクルートワークス研究所 研究員／アナリスト 中村 星斗



大手総合重工業メーカーでの人事職を経て2016年2月に株式会社リクルートキャリアに入社。所属部門の事業移管により2018年4月に株式会社リクルートマネジメントソリューションズへ出向、その後2020年4月に転籍。一貫して適性検査の営業、品質管理・開発、基礎研究などに従事。2022年4月より現職。現在は大卒求人倍率調査などをはじめ、就職活動や新卒採用に関する調査・研究に従事。2021年3月筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。2023年4月より岡山大学大学院医歯薬学総合研究科に在籍。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>